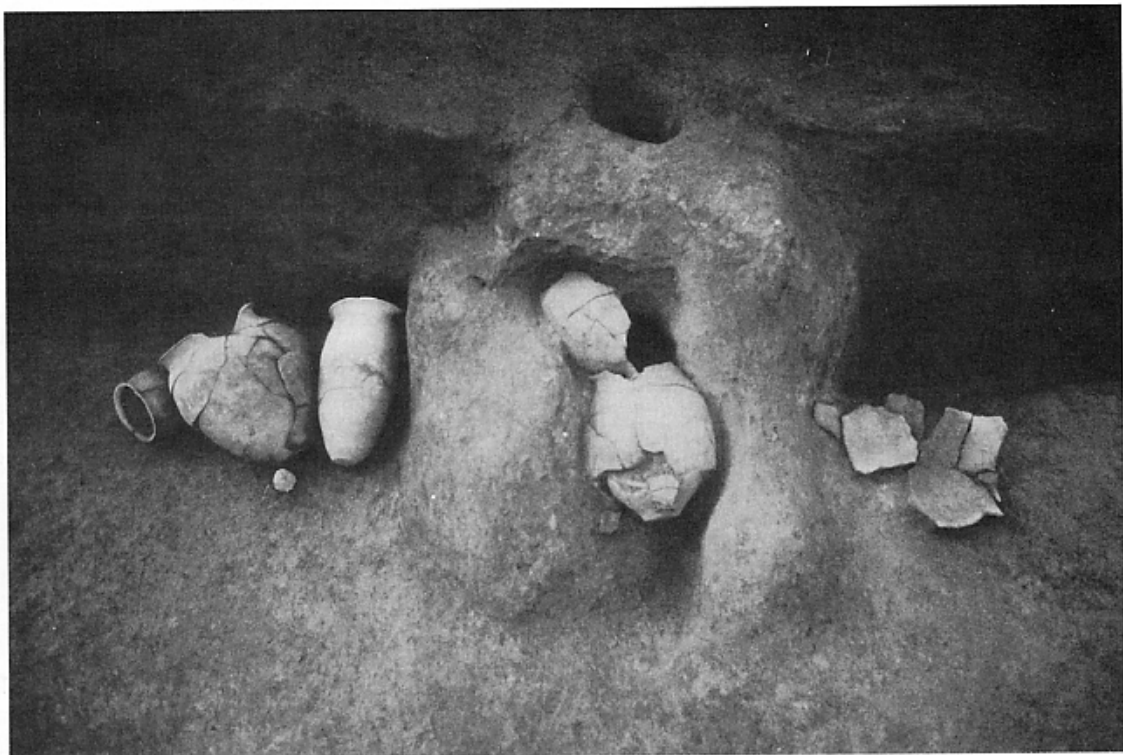


資料館だより

平成15年(2003)
3月25日

編集・発行 市立歴史民俗資料館 〒208-0004 東京都武蔵村山市本町5-21-1 TEL 042(560)6620



野山第3遺跡の3号住居跡カマド
カマドの中とその左右に大小の割れた甕が見える

企画展をふり返って

カマドのある風景

—野山北公園内遺跡群の古墳時代集落—

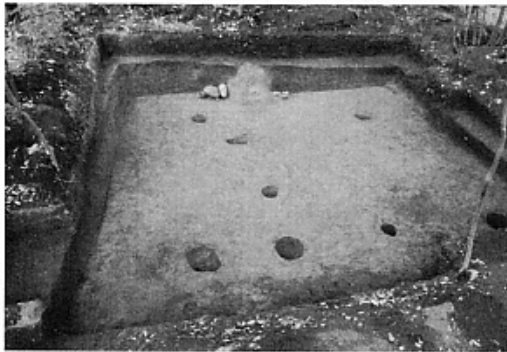
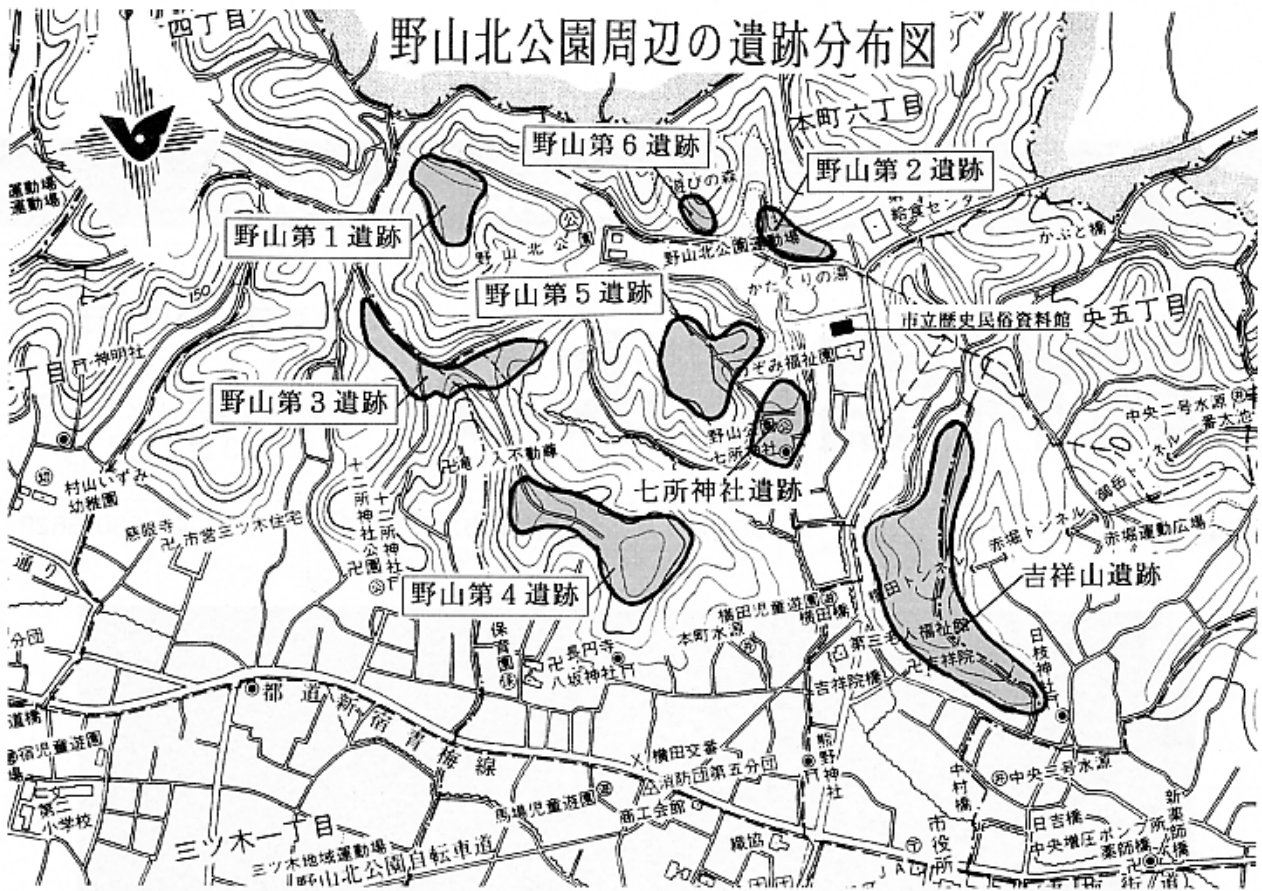
平成14年11月12日(火)から12月25日(水)にかけて、企画展「カマドのある風景—野山北公園内遺跡群の古墳時代集落—」を開催しました。

昭和63年から平成2年にかけて野山北公園内で行った発掘調査では、縄文時代の竪穴住居跡2軒、炉穴7基、古墳時代後期の竪穴住居跡12

軒をはじめ、^{わん}碗や^{かめ}甕、^{こしき}甗など多くの遺物が出土しています。

展示では、住居跡のカマド遺構に焦点をあて、食生活や土器類の変化を通して古墳時代後期の集落の様子について紹介しました。

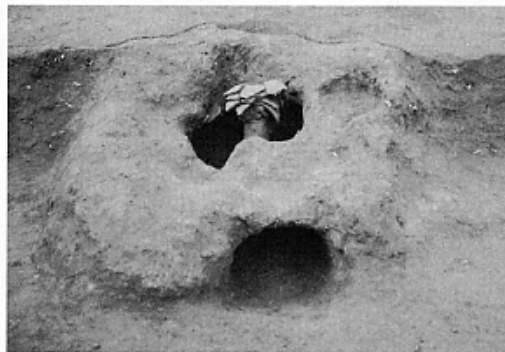
(次頁に周辺の遺跡分布図と写真の一部を掲載)



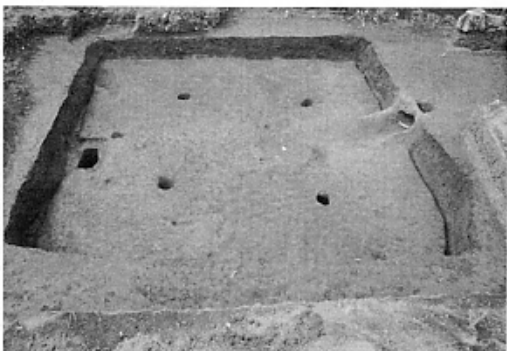
野山第3遺跡 3号住居跡
中央奥に見えるのがカマド



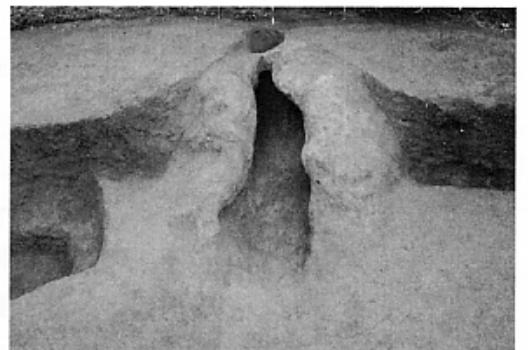
野山第3遺跡 3号住居跡カマド
土器を取り除いたカマド
奥に見える穴が煙道（煙出し）



野山第5遺跡 2号住居跡カマド
支脚の上に土器の破片を積み
上げて高さを調整していた



野山第5遺跡 5号住居跡
中央の4つの穴が柱穴、右側にカマド、
左側の長方形の穴が貯蔵穴



野山第5遺跡 7号住居跡カマド
カマドの奥に見える穴が煙道
左側のくぼみが貯蔵穴

歴史民俗資料館では、平成14年度事業として以下の各事業を実施しました。特に今年度は、学校週5日制の導入や総合的な学習の時間の本格実施に対応するため、学習支援講座メニューを開設するとともに、里山体験施設を活用した新たな体験型事業の展開に力を入れました。



里山体験施設（母屋）

◎展示事業

■写真展

「ちっとんべえ昔の武蔵村山ー三本榎・五郎松を中心にー」（平成14年7月19日～8月31日、9月6日～20日は市役所1階で巡回展）

■企画展

「カマドのある風景ー野山北公園内遺跡群の古墳時代集落ー」（平成14年11月12日～12月25日）

■季節展

「ひな人形、五月人形、恵比寿講」など

◎講座・教室事業

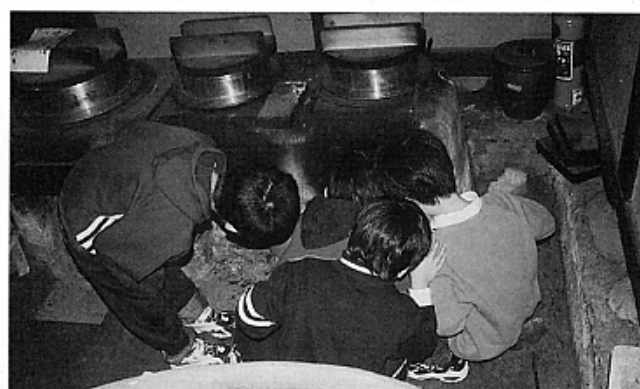
■歴史講座

1. 「『指田日記』から見た幕末の民俗」（平成14年8月3日、教育センター集会室、講師 水野紀一氏・市文化財保護審議会委員）
2. 「天明の打ちこわし（武州村山騒動について）」（平成14年10月12日、教育センター集会室、講師 寺町勲氏・市文化財保護審議会委員）

■学校週5日制対応事業（体験教室）

「カマドで御飯炊き」（全4回）

（平成14年5月25日、6月22日、9月28日、11月16日、里山体験施設）



うまく炊けるかな？（カマドで御飯炊き）

■体験教室

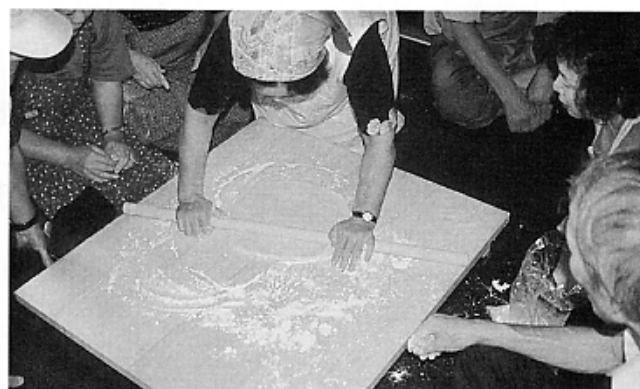
1. 「しめ飾りづくり」（平成14年12月14日、里山体験施設、講師 小川栄子氏・東京農工大学繊維博物館サークル会員）
2. 「トッチャアナゲ（すいとん）づくり」（平成15年2月22日、里山体験施設、講師 原田千代子氏・市内岸地区在住）

■自然教室

「自然と遊ぼう」（平成15年3月15日、野山北公園、講師 石橋正行氏・都立神代高校教諭、久永英二氏・都立北多摩高校教諭）

■野山北・六道山公園管理所との共催事業

1. 里山郷土食体験「手打ちうどんづくり」（平成14年10月5日、里山体験施設）
2. 里山生活体験「シイタケのホダ木づくり」（平成15年3月8日、里山体験施設）



手打ちうどんづくり

■文化財見学会

「村山大島紬つむぎの歴史を訪ねて」（平成14年11月2日、村山織物協同組合事務所ほか、講師 榎本光好氏・元市文化財保護審議会会長）

寄贈資料（平成14年度）

※受領順（14年4月～15年3月）

	寄贈者(敬称略)	住 所	寄 贈 品 名	数 量
1	鈴木 初	大南3-5-1	火のし、こて（昭和初期）	各1点
2	福嶋 徹	中央3-20-7	化石標本（狭山丘陵採取の植物化石等）	200点
3	内野 裕 旦	中藤4-31-1	中藤村旗、二番組旗（明治初期）	各1点
4	乙幡 好雄	本町4-19-2	水田クサトリキ（昭和20年代）	1点
5	山崎 英美	三ツ木2-11-1	雛人形〔七段飾り〕（昭和56年）	1式

※ご寄贈ありがとうございました

平成15年度の主な事業（予定）

※実施時期等は変更となる場合があります（詳細は市報等でお知らせします）

	事 業 内 容	時期（期間）	場 所
1	夏休みミニ展示「狭山丘陵の化石（仮題）」	7～8月	歴史民俗資料館
2	企画展「市内に残る江戸時代の村絵図（仮題）」	10～12月	歴史民俗資料館
3	歴史講座（中世史と近世史に関する内容を各1回）	11月、2月	教育センター集会室
4	体験教室（ ^{まがたま} 勾玉づくり、手打ちうどんづくり等）	7月以降順次	里山体験施設ほか
5	文化財見学会（「東京文化財ウィーク」関連事業）	11月頃	未 定

〈編集後記〉

◆今年、1603年（慶長8年）に徳川家康が江戸に幕府を開いてから400年目にあたることから、都内各地で「江戸開府400年」にちなんだ行事が多数予定されています。

本市でも、市史編さん事業の過程であらためて整理された江戸時代の村絵図についての企画展を今秋に開催する予定です。

◆資料館で行う事業や四季折々の情報などをお知らせする「しりょうかんダイジェスト」を今年1月に創刊しました。1・3・7・10月の年4回の発行予定で、資料館のほか、市政情報コーナー等にも置いてありますので、ご利用ください。